

令和 6 年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	55	学 校 名	静岡県立相良高等学校	校 長 名	小塩 宜浩
------	----	-------	------------	-------	-------

本年度の取組

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。	規律ある生活習慣を確立している生徒 80%以上	校則遵守 98.5% 挨拶心掛け 97.9%	A	服装について生徒各自が気を付けて生活できた。挨拶は自然に出てくるようになり、姿勢が向上した。 自分の将来に向け、どう行動するべきかと自覚を持った生徒が多かった。
		交通事故件数 5 件以下 自転車指導カード交付枚数 100 枚以下	交通ルール・マナー等の遵守 96.4%	A	交通事故はなかった。 自転車指導カードは延べ 53 枚交付された。ヘルメットの着用者は増えなかった。
		自己肯定できる（自尊感情が持てる）生徒 70%以上	学力・技能向上の実感（授業）89.3% 自分の良いところを自覚 77.3%	A	体育大会や球技大会など生徒主体で運営ができた。 学校行事を通じて、他者の良いところも確認している。
		部活動等各種活動に熱心に取り組んだ生徒 90%以上	諸活動への積極参加 91.4%	A	欠席者が少なく、部活動やサークル活動に、積極的に取り組んでいる。 各部活動が活性化し、生徒の自己肯定感を高め、主体性が身についてきている。
		いじめアンケートを年 3 回、個人面談年 3 回・保護者面談年 1 回実施	アンケートは毎学期に計 3 回実施。いじめに特化した校内研修実施。	A	校内研修及び適切な生徒把握により、早期対応ができた。さらに、複雑化した事案に対応する体制を整える。
イ	基礎的知識や技能（技術）を習得し、学習成果を積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。	週 5 日以上家庭学習等に取り組む生徒 50%以上 スタサプの利用率 80%以上	授業時間外学習への取組 49.8%	B	受験勉強には積極的に取り組んでいた一方で、家庭学習習慣については課題意識を持っている。 スタサプによる課題配信は概ねできたが、十分に指導しきれていない。主体的な視聴を促す仕掛けづくりが課題である。 検定試験に向けて意欲的に取り組んだ。 健康意識を高める指導により、授業外でも意識的な体力向上、生活改善等の取組みが見られた。 長期休業中の課題は指導したが、年間を通じた課題指示が不足している。 一人一台端末を活かし、充実した指導ができた。
		主体的に探究活動に取り組んだ生徒 80%以上	3 学期に、1 年間の成果をまとめ、全ての生	B	1 年間の成果を発表する機会が設定され、それに向けての準備

様式第 3 号

			徒が発表する機会を設けた。		ができた。さらに完成度を追求していく。
		授業改善に向けて授業を工夫した教員 70%以上	授業改善を意識した教員 100%	A	「行きたい学校づくり」事業や校内研修により、改善意識を高く持つことができた。生徒の学習状況の改善につなげたい。
		授業や探究活動に I C T を積極的に活用した生徒 90%	授業への取組向上 91. 7%	A	「行きたい学校づくり」事業を効果的に活用し、さらに I C T 活用を促進したい。
		「S C H 地域活動相高プロジェクト」参加生徒延べ数 300 人以上	地域活動への参加意欲 70. 7%	A	目標人数を大きく超える生徒が参加し、意欲的に活動できた。年間参加ゼロの生徒を減らしていきたい。 地域の課題と関連付けた探究活動の充実が図られた。3 年生の参加率をさらに向上させたい。
		年間読書数 3 冊以上 探究活動で達成感を感じた生徒 80%以上	読書 3 冊以上 48. 7% 読書への興味 45. 3%	B	授業等での指導や、毎月の朝読書週間、図書館だよりの発行や P O P コンテスト等により、本への興味を養った。 蔵書の整理、除籍など、利用しやすい環境を整え、学習室として継続利用があった。 探究的な学びを実践しているが、さらに、生徒自らが問いを立て探究する力の育成を工夫していく。 多言語の本を読ませる取組みにより、多読による、多方面での効果を実現したい。
ウ	進路指導体制や指導計画の充実を図り、早期からキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択していく能力を育成する。	進路目標達成のために、3 年間継続的に努力できた生徒 80%以上 各種検定に挑戦した生徒 50%以上	進路目標達成の努力 87. 6%	A	ほとんどの生徒が、進路実現に向けて努力できた。 卒業が目標となる生徒もあった。 企業関係者を招聘し、進路意識を高めた。 進路実現に必要な情報収集力・資料読解力を身に付けさせた。 授業においても、人生設計としての進路指導を行った。学力向上に役立った。 生徒が早期から主体的に行動できるように進路課主導による 3 年間の指導計画を、さらに充実させていく。
		本校の進路指導に満足している生徒 (3 年生) 80%以上	進路指導満足度 84. 3%	A	面接や小論文対策等の個別指導に対する満足度が高い。進路課を中心に、充実した指導体制を整えていく。
		希望進路への合格率 80%以上	希望進路への合格率 96. 7%	A	第一志望で合格する生徒がほとんどであった。

様式第 3 号

		年度内就職内定率 100%	年度内就職内定率 95.8%	A	第一志望で内定する生徒がほとんどであった。 未内定 2 名であるが、本人の事情により卒業を優先した。
エ	保護者や地域等との連携や交流をと おして、生徒の教育 環境の充実を図る とともに、地域から 信頼される学校と なるための取組を 推進する。	本校の教育活動に満足 している保護者 80%以上 中学生に対するアンケ ートで、ホームページ や SNS が参考になっ たという回答 80%	学校生活満足度 90.4%	A	様々な活動に、きちんと取り組 んでいる様子が伺われた。 教育活動が保護者や中学生に も、よりリアルに伝わるよう に、動画等を活用しインスタや ホームページ等の更新頻度を上 げる。
		校内防災訓練 3 回以上 地域防災訓練参加率 80%以上	校内防災訓練 4 回 防災講話 1 回 地域防災訓練参加率 48.1% 9 月の地域防災が中止 となり、参加率に影響 した。	B	防災訓練の回数、実施方法を工 夫することで、生徒の防災意識 を高めた。 各種マニュアルの見直しを行っ た。 地域防災訓練への参加率を高め るため、部活動に優先して参加 を指導した。
		「教育相談だより」年 3 回以上発行 資質向上のための職員 研修年 2 回	教育相談だより 2 回発 行(評価時点) 教職員研修年 4 回実施	A	年 4 回の職員研修を実施した。 日頃より、悩みを持つ生徒に対 応する体制づくりができてい る。 教育相談、養護教諭、SC が連 携し、ケース会議により指導力 向上を目指している。
		清掃活動を通して環境 美化を意識することが できた生徒 80%以上 学期に 1 回安全点検	清掃活動への取組 98.5%	A	美化委員会がよく機能し、定期 的な掃除用具の交換など年間を 通じて良好にできた。
		事務室は充実した教育 活動が行えるように支 援していると回答する 教職員 80% 物品の現物確認等 年 1 回	教職員相互の意思疎通 ができています。 物品の現物確認等 1 年 回	A	事務室は教育活動の充実のため、 様々な要望等に全面的に協 力をしている。 対応も早く、円滑な関係が築け ている。 スムーズに物事が進んでおり、 意思疎通ができていますと実感す る。 限られた予算の中で、物品購 入、修繕等の教育活動に必要な 支援を行った。 物品の現物確認は 5 月に実施し た。
オ	協力し合える教職 員組織づくりに努 め、資質向上や働き 方改革を進めるこ とで、円滑な学校運 営を実施する。	勤務時間管理システム の利用による自己管理 100% 夏季休暇取得率 100% 定時退勤日実施率 70%	勤務時間管理システム の利用率は 100% 夏季休暇取得率 98.8%	B	勤務時間管理システムの利用状 況は良好だが、教職員による業 務量の差が激しい。業務の平準 化を目指し、再度組織を見直す 必要がある。 夏季休暇 4 日間は全ての教職員 が取得したが、残り 1 日は部活 動等の理由に取得できない教員 がいた。 十分に休息をとることができ

様式第 3 号

					た。
		やりがいをもって仕事 ができた教員 70%	授業改善に向けて授業 を工夫した 100% やりがいや張り合いを もって持って仕事ので きた 80%	A	生徒の実態に合わせた授業改善 ができた。 「行きたい学校づくり」事業の 動画作成など、全教員が主体的 に取組み、授業改善の意識を高 く持つことができた。 I C T活用技術が向上した。 やりがいをもって取組めたと答 える教員が一定数以上いる。 全ての事務職員がやりがいをも って仕事ができたと答えた。
		信頼できる先生がいる と思う生徒 70%	信頼できる先生の存在 85.0%	A	体罰・セクハラ調査による訴え はゼロであり、保護者を含めた 生徒と教員の関係は比較的良好 である。